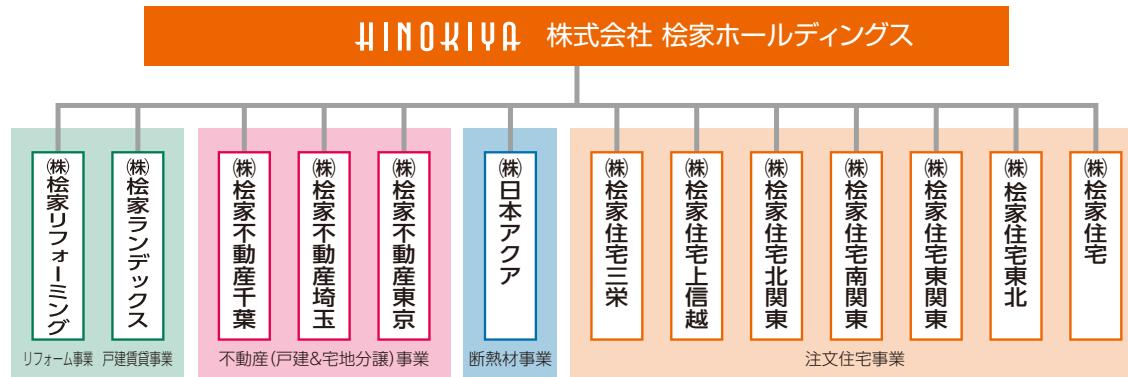


会社概要

- **社名** 株式会社 桧家ホールディングス
- **本社事務所** 埼玉県久喜市久喜中央1-1-20
久喜駅桧家ビル6階
- **設立** 1988年10月13日
- **資本金** 3億8,990万円
- **従業員数** 連結1,153名 (2012年6月30日現在)
- **事業内容** 戸建住宅建築請負事業／戸建住宅及び土地の分譲事業／不動産仲介事業／断熱材事業／不動産賃貸事業／戸建賃貸住宅建築請負事業／リフォーム・外構工事事業／FC事業

■ 連結子会社



■ 役員 (2012年8月31日現在)

代表取締役会長	黒須 新治郎	常勤監査役	吉本 晴昭
代表取締役社長	近藤 昭	常勤監査役	白石 勝利進
専務取締役	益子 春代	監査役	川村 進
常務取締役	加藤 進久		
常務取締役	平野 光博		
取締役	荒木 伸介		
取締役(非常勤)	水島 孝生		
取締役(非常勤)	出口 俊一		

HINOKIYA



今後のIRスケジュール

IR SCHEDULE

2012年 11月上旬	2012年12月期第3四半期決算発表	2013年 2月上旬	2012年12月期決算発表
		2月下旬	アナリスト向け決算説明会
		3月下旬	2012年12月期定時株主総会

※今後の予定につきましては、諸事情により日程変更となる場合もございますのであらかじめご了承の程お願い致します。

HINOKIYA

株式会社 桧家ホールディングス

〒346-0003 埼玉県久喜市久喜中央1-1-20 久喜駅桧家ビル6階
TEL : 0480-26-1118(代) FAX : 0480-24-4118
<http://www.hinokiya-holdings.jp>



環境保全のため植物油インキを使用して印刷しています。

第25期 中間報告書

2012.1.1 ▶ 2012.6.30

株式会社 桧家ホールディングス

Mid-term Business Report

トップインタビュー

今後も「桧家らしい」商品づくりと M&A等による積極的な成長戦略を進めてまいります。



代表取締役社長
近藤 昭

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社第25期第2四半期（2012年6月中間期）の営業状況ご報告とともに、今後の事業展開についてご説明申し上げます。

Q 2012年6月中間期の業績と2012年12月期の業績見通しについてお聞かせください。

当中間期は、通期予想の達成に向けて、当初予想を概ね達成することができました。

当中間期の連結業績は、売上高が202億65百万円（前年同期比26.4%増）、経常利益が9億12百万円（前年同期比26.2%減）と、前年同期比で増収減益となりました。しかしながら、本年2月10日に発表した業績予想に対しては、売上高は98.8%、経常利益では120.0%と概ね順調といえる結果となりました。これは予めM&Aにより傘下入りした2社のテコ入れによる先行経費負担等からの減益を想定していたもので、ほぼ見込み通りといえると思います。セグメント別では、主力の注文住宅事業が好調だった一方で、不動産事業では競合が激しい東京エリアでの苦戦があったことや昨年11月に買収し

た子会社の業績予想が難しかったこと、断熱材事業では前年同期にて大震災発生から品薄状態にあったグラスウールの代替需要が剥落し、積極的に立てていた計画を下回ったことなど、内容的には当初想定したものと若干の相違がありました。通期については、中間期の結果を踏まえ、引き続き当初予想の達成を目指していきます。

Q 当中間期に注力した取り組みについてお聞かせください。

「スマート・ワン Vシリーズ」と「青空リビング」など桧家らしい商品づくりに注力しました。

注文住宅事業では、1月に「スマート・ワン Vシリーズ」、3月に「屋上庭園 青空リビング」を発売しました。「スマート・ワン Vシリーズ」は、従来より標準仕様として採用している太陽光発電システムに電力モニター「HEMS」を加え、太陽光による発電状況と部屋毎や機器毎の電力消費状況がリアルタ

イムに確認できるなど、省エネ生活を楽しめる機能が追加されています。

また、「屋上庭園 青空リビング」は、広い庭を確保することが難しい都市部向けに開発した商品で、限られた敷地でも日当たりの良い安全・安心な庭を屋上を実現する新しい提案です。こうした新商品の開発もあり、「屋上庭園 青空リビング」を注文住宅事業・FC事業・不動産事業で同時展開するなど、各事業部門間での商材共通化も進めています。

Q 御社を取り巻く事業環境についてお聞かせください。

消費増税の動向を慎重に見極め機動的な対応策が取れる準備を進めています。

まず何よりも、消費増税関連の動向を挙げなければなりません。増税前の特需はまだ顕在化していませんが、当社グループも含め住宅業界では既に対応策が進められています。



■ 第2四半期
■ 通期

トップインタビュー

注文住宅に関しては、契約日が適用税率の判断基準となるため一般よりも半年早い、2013年10月1日以降の建築請負契約から新税率が適用される見込みとなっています。当社では、消費税関連の動向を慎重に見極めながら、機動的な対応策が取れるよう準備を進めています。

Q 「グループ中期経営目標」の達成に向けた中長期の展望についてお聞かせください。

外部環境の変化に適切な対処をしつつ継続的な成長を図っていきます。

先に述べましたように、注文住宅については2013年10月以降契約分からの新税率適用が見込まれており、この場合、来期は駆け込みによる特需が見込まれますが、その後については、過去に経験のない2段階での税率アップであり、予測するのが難しい、というのが正直なところですが、現時点では引き続き現行の中期経営目標の達成を目指してまいります。

時々の状況に応じて見直しを行う可能性があります。

Q 昨年買収した子会社2社の状況と宮城県での営業状況やその他の事業などについても聞かせください。

(株)松家住宅三栄については、神奈川県という大きな市場で



展開しており、買収から半年が経過するなかで大いに期待できると確信するに至っています。現在、いくつかの新規出展を検討しており同県内での営業エリア拡大を図っていきます。また、(株)松家不動産千葉も、江戸川区や市川・浦安・船橋など底堅い需要があるエリアにあり、今後は「松家らしい」仕様の商品に順次切り替え、営業を強化・拡大していきます。

宮城県内では受注が好調で現在の当社グループの業績を牽引しています。施工に携わる職人の不足を懸念していましたが、十分な数の職人を確保することができました。来年ゴールデン・ウィーク前には県内で6展示場体制となり、震災被災者の皆様の復興への一助となれるよう努めていきます。

FC事業は、静岡県以西で加盟店を拡大しており、今期末には12ヶ所の展示場体制となります。今春からは受注1棟あたりのロイヤルティー課金を開始するなど、本格的な収益化による連結損益への貢献も期待しています。

Q メディアへの展開についてお聞かせください。

「HINOKIYA」ブランドの知名度向上と社会貢献に努めてまいります。

メディアへの展開は「HINOKIYA」ブランドの認知度向上において重要な役割を果たしており、徐々に効果をあげていると評価しています。今後も有効に活用していきたいと思えます。

さて、当社グループは、現在開催中の「ツタンカーメン展」^(※)に特別協賛しています。人類の至宝を観る文化的なイベントに微力でも協賛することは、エコ住宅や断熱材の提供を通じて、地域社会や地球環境に貢献するという当社の理念にも共通するものがあると考えたからです。今後も様々な方法で社会貢献に努めてまいります。



■ 第2四半期
■ 通期



注) 2011年7月実施の株式分割を考慮し、各期適正修正しています。



■ 第2四半期
■ 通期

トップインタビュー

Q 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

今期は、消費増税を控えた特需に対応できるよう準備を進めつつ、通期業績予想の達成に向け全力を傾けてまいります。来期以降もM&A等を活用するなどして外部環境の変化に適切に対応しつつ、安定かつ継続的な成長を図ってまいります。株主の皆様には、ご期待いただくとともに、引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

※ツタンカーメン展

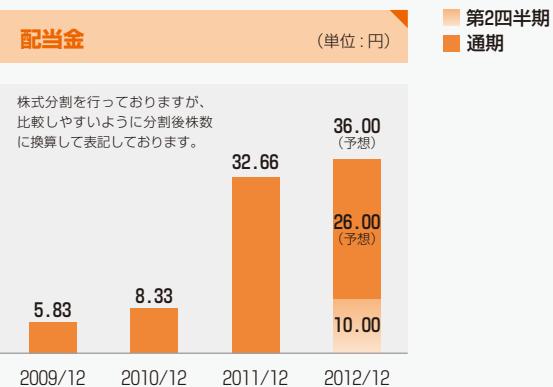
場 所：上野の森美術館

開催期間：2012年8月4日(土)～12月9日(日)

主 催：フジテレビジョン、産経新聞社ほか

配当金 (単位：円)

株式分割を行っておりますが、比較しやすいように分割後株数に換算して表記しております。



当社は2011年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき300株の割合で株式分割を実施しております。



NEWS

ツタンカーメン展に特別協賛しています

本年12月9日(日)まで、上野の森美術館(東京都台東区)でツタンカーメン展(主催：フジテレビジョンほか)が開催されています。東京会場では、桧家グループが、社会貢献活動の一環として、昨年の「世界体操 東京2011」でのオフィシャル・スポンサーにつづき、1社単独で特別協賛いたします。当イベントは、1965年(昭和40年)以来の国内開催であり、先行開催の大阪会場では93万人を超える来場者数となりました。

Photograph
©Sandro Vannini



(株)桧家住宅東北が始動しました



昨年7月の仙台長町展示場のオープン以来、3ヶ所の展示場を、(株)桧家住宅東関東の下で展開してまいりましたが、本年7月1日から、同社より分社化するかたちで宮城県内における注文住宅事業を移管し、(株)桧家住宅東北が営業を開始しました。「最高品質と最低価格で社会に貢献」のグループ経営理念のもと、宮城県内の皆様に安心して住んで頂ける高性能なエコ住宅を提供してまいります。

(株)桧家住宅東北

- 本社：宮城県仙台市若林区
- 代表取締役社長：本館 哲雄



セグメント情報

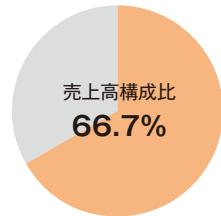
注文住宅事業



木造軸組み工法による戸建住宅の建築請負（元請・設計・監理）を行っております。

■ 主な関係会社

- (株) 松家住宅
- (株) 松家住宅東関東
- (株) 松家住宅南関東
- (株) 松家住宅北関東
- (株) 松家住宅上信越
- (株) 松家住宅三栄



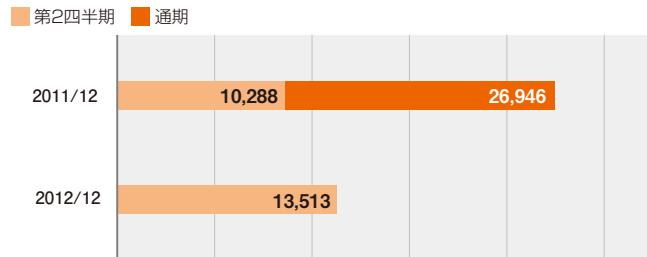
売上高は、昨年12月に連結子会社化した(株)松家住宅三栄が売上増加に貢献したほか、完成引き渡しが順調に推移したこと等から、前年同期を上回りました。営業利益は、(株)松家住宅三栄の統合に係る費用増及び展示場の新規出展に係る諸費用の増加等から前年同期を下回りました。

また、1月には太陽光発電システムと電力モニター「HEMS」を標準採用した「スマート・ワン Vシリーズ」を、3月には「屋上庭園 青空リビング」を、5月には「スマート・ワン (青空リビング)」を発売しました。

売上高 137億42百万円 (前年同期比 +31.9%)

営業利益 3億83百万円 (前年同期比 △55.7%)

売上高推移 (単位：百万円)



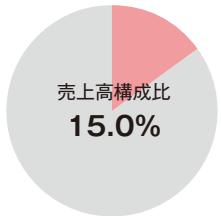
不動産事業



戸建住宅及び宅地の開発・分譲ならびに不動産の仲介を行っております。

■ 主な関係会社

- (株) 松家不動産東京
- (株) 松家不動産埼玉
- (株) 松家不動産千葉



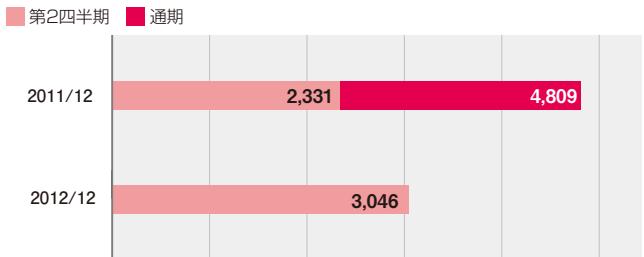
売上高は、東京エリアでの競争激化により「メイプルガーデン」シリーズの販売が減少したものの、昨年11月に連結子会社化した(株)松家不動産千葉が売上増加に貢献したほか、埼玉エリアで「サイプレスガーデン」シリーズの販売が順調に推移した結果、前年同期を上回りました。

営業利益は、(株)松家不動産千葉の統合に係る費用増ならびに東京エリアでの粗利率の低下等から、前年同期を下回りました。

売上高 30億46百万円 (前年同期比 +30.6%)

営業損失 1億17百万円 (前年同期は1億47百万円の利益)

売上高推移 (単位：百万円)



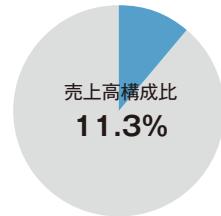
断熱材事業



発泡断熱材の販売・施工及び住宅用遮熱資材の開発・販売を行っております。

■ 主な関係会社

- (株) 日本アクア



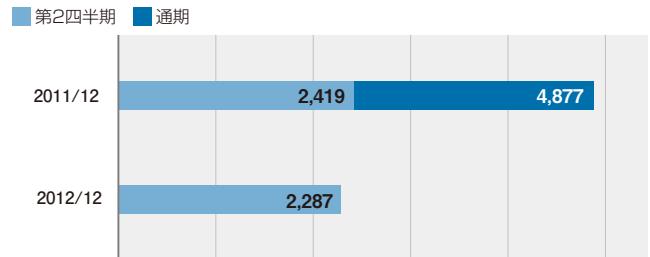
売上高は、前年の大震災発生でのガラスウール不足による代替品としての需要が剥落したこと、一部地域における天候不良による施工遅延等から、前年同期を下回りました。

営業利益は、原材料コストの削減や施工の内製化を進めたこと等により粗利率が向上し粗利益は前年同期比増加したものの、営業所の新規開設を積極的に進めたことに伴う販管費等により、前年同期を下回りました。

売上高 25億92百万円 (前年同期比 △2.9%)

営業利益 2億14百万円 (前年同期比 △40.6%)

売上高推移 (単位：百万円)



不動産賃貸事業



主に商業ビル（本社屋）のテナント賃貸を行っております。

■ 主な関係会社

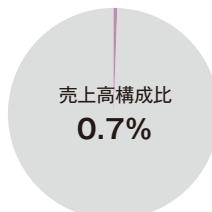
- (株) 松家ホールディングス

売上高は、当社本社のある商業ビル「クッキープラザ」のテナント誘致に取り組んだ結果、前年同期を上回りました。

営業利益は、前年同期の赤字から、黒字に転換しました。

売上高 1億88百万円 (前年同期比 +50.0%)

営業利益 26百万円 (前年同期は△10百万円の損失)



その他の事業

住宅のリフォーム・解体工事・外構工事の請負、賃貸用戸建住宅の建築請負及び運営管理の受託、注文住宅のFC本部事業、工務店に対する経営指導等を行っております。

■ 主な関係会社

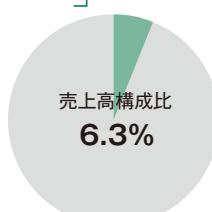
- (株) 松家リフォーム (株) 松家ランデックス
- (株) 松家住宅FC事業部 (株) 松家ホールディングス

同事業については、ほぼ前年同期並みの業績となりました。

※当期より、(株)松家ホールディングスの、連結子会社からの経営指導料と配当金が損益に計上されていることから、大幅な増収増益となっています。

売上高 23億74百万円 (前年同期比 +90.4%)

営業利益 11億19百万円 (前年同期比 +277.3%)



TOPICS 「屋上庭園 青空リビング」

本年3月より、「屋上庭園 青空リビング」を発売いたしました。従来、鉄骨プレハブ住宅等では実現されていた屋上活用ですが、木造住宅では、強風や地震での建物のしなりによる樹脂防水の亀裂など雨漏りリスクを解決できませんでした。今回、軽量・不燃・耐久性を兼ね備えた金属防水技術と木造住宅の特性にマッチした工法を採用することで雨漏りリスクの回避が可能となり、商品化が実現しました。



「屋上庭園 青空リビング」は、広い庭を確保することが難しい都心部でも屋上として十分なサイズの、プライバシーを確保した安全かつ日々の良い庭を確保でき、郊外であれば広範囲の眺望も楽しめる画期的な商品です。98万円～（15坪の場合）を追加するだけで最高のプライベート空間を手に入れることが可能です。



株式の状況 (2012年6月30日現在)

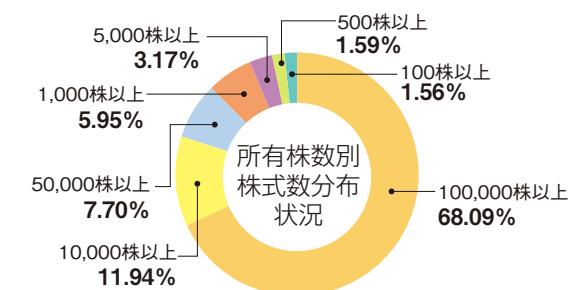
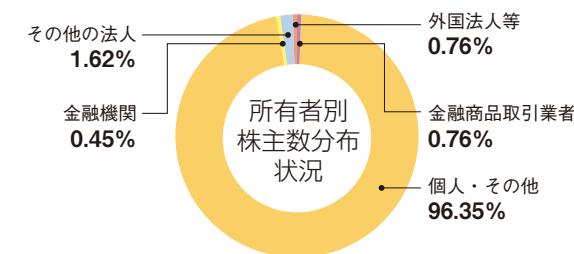
■ 発行可能株式総数	48,300,000株
■ 発行済株式の総数	13,575,000株
■ 株主数	1,944名
■ 大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社GSK	4,350,000	32.04
黒須新治郎	640,000	4.71
永大産業株式会社	600,000	4.41
黒須恵久子	450,000	3.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	347,800	2.56
桜家ホールディングス従業員持株会	347,400	2.55
桜家ホールディングス取引先持株会	331,700	2.44
近藤昭	284,700	2.09
加藤まゆみ	240,000	1.76
近藤治恵	240,000	1.76

株式分割及び単元株制度の採用についてのお知らせ

当社は2011年7月1日付けで1株につき300株の割合による株式分割及び100株を1単元とする単元株制度を採用いたしました。

■ 分布状況数



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年12月末日 中間配当金 毎年6月末日
定時株主総会	毎年3月開催
公告方法	電子公告
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ●お問い合わせ先 0120-232-711 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ●お問い合わせ先 0120-49-7009 (フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、東京証券代行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(東京証券代行)にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にて承ります。